CA92276-5914

PRIMERGY RX600 S3 (SAS モデル) 使用上の注意

このたびは、弊社の製品をお買い上げいただきまして、誠にありがとうございます。本製品に添付されておりますマニュアル類の内容に追加および訂正事項がございましたので、ここに謹んでお詫び申し上げますとともに、マニュアルをご覧になる場合に下記に示します内容を合わせてお読みくださるようお願いいたします。

平成 19 年 5 月
富士通株式会社

VMware について

サポートOSのVMwareについては、2007年6月下旬よりサポート予定です。
VMwareサポート情報については、下記の富士通におけるVMwareへの取り組みに掲載されているVMware社認定対応ハードウェアをご参照ください。

【PRIMERGY ホームページから参照する場合】
インターネット情報ページ（http://primeserver.fujitsu.com/primergy/）内の『ソフトウェア』－『VMware（ヴイエムウェア）ご紹介』－『富士通におけるVMwareへの取り組み』

【URL直接参照の場合】
http://primeserver.fujitsu.com/primergy/software/vmware/products01.html

起動デバイスの順番についての注意事項

本サーバは、以下のようなシステム構成の変更を行った場合、起動デバイスの順番は設定していた順番が自動的に変更されます。変更後は、Boot Maintenance ManagerにてBoot Orderを再設定してください。設定しない場合、OSが起動できない問題が発生することがあります。

(Boot Orderが変更されるケース)
・USB機器(FDDユニット(USB)など)を接続した場合
・WebBIOSまたは、ServerStartを使用してアレイの構築を行った場合

インストール作業時の留意事項

●ServerStart を使った OS インストール時に、ドキュメント&ツールCDをセットするようメッセージが表示されCDをセットすると、再びドキュメント＆ツールCDをセットするよう メッセージが表示される。
（2度目に表示されるメッセージではドキュメント&ツールCDに含まれないパスのファイルを要求される）

ガイドモード、エキスパートモード、事前設定モード(リモートインストールを含む)画面で
アプリケーションウィザード画面を開かずに、コンフィグレーションファイルを保存すると、
ドキュメント＆ツールCDをセットするようメッセージが2度表示されます。(2度目はドキュメント＆ツールCDに含まれないパスのファイルを要求されます。)
この場合、[キャンセル]をクリックし、処理を先にすすめてください。OSインストール処理は正しく終了します。
OSインストール終了後、高信頼ツールのインストール状況は次のようになります。必要な高信頼ツールはOSインストール終了後、手動にてインストールを行ってください。

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

UpdateAdvisor	○
DSNAP	○
ソフトウェアサポートガイド	○
Broadcom Advanced Control Suite(BACS)	○
富士通ドライバ自動適用ツール	○
RAS 支援サービス	×
ServerView（Apache 版） / RAID 管理ツール	×
ServerView（IIS 版） / RAID 管理ツール	×
HRM / server	×
REMCS エージェント	×
PROBEPRO	×

リモートサービスボード(PG-RSB105)をご使用の場合の訂正事項

◆リモートサービスボード ユーザガイド:B7FH-4991-01『4.1.5 USB Setting (p.48)』の『POINT』

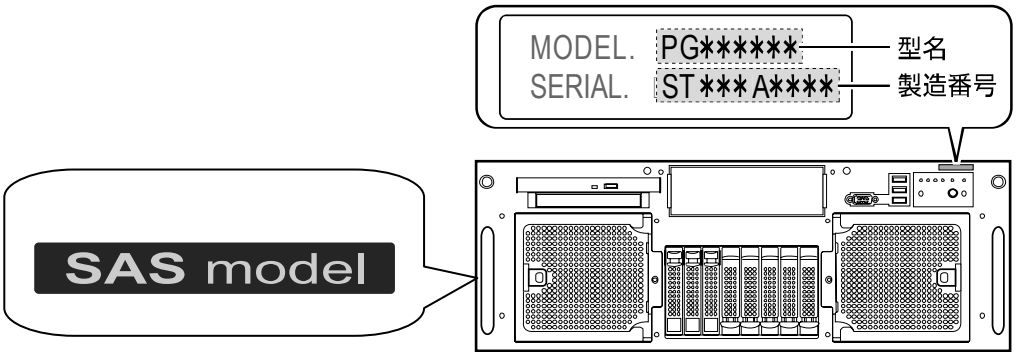
誤： 「Enable USB High Speed Capability」を有効にすると、USB のキーボード／マウスが使用できなくなる場合があります。その場合、当項目は無効にして使用してください。

正： 本体前面のUSBコネクタにUSB機器を接続する場合、「Enable USB High Speed Capability」を有効にして使用してください。有効にしないとUSB機器を認識しない場合があります。

はじめにお読みください: B7FH-4851-01-00 への追加事項

◆『11 サポート＆サービス (p.7)』の『●修理ご依頼の前に』に対する追加事項

ご連絡の際は、サーバ本体正面の右上貼付のラベルで記載の型名、および製造番号を確認し、お伝えください。
また、サーバ本体正面の左側に表示されている内容『 SAS model 』も合わせてお伝えください。



All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007

ユーザーズガイド: B7FH-4891-01-01 への訂正事項

◆『2.1.1 内蔵オプション、外付けオプションの取り付け (p.51)』の『■ メモリ搭載時の注意』

誤：本サーバでは、メモリは最大 32GB までサポートしますが、使用する OS によって搭載可能容量が異なります。
正：本サーバでは、メモリは最大 64GB までサポートしますが、使用する OS によって搭載可能容量が異なります。

◆『8.3.3 Processor メニュー (p.305)』の『表：Processor メニューの項目説明』

誤

項目	設定値	説明
Intel(R) Virtualization Technology	・Enabled ・Disabled（ご購入時）	システムを仮想化し、複数 OS を実行する機能を有効にするかどうかの設定です。 **Xeon プロセッサ 7041 搭載モデルの場合のみ表示される項目です。**

正

項目	設定値	説明
Intel(R) Virtualization Technology	・Enabled ・Disabled（ご購入時）	システムを仮想化し、複数 OS を実行する機能を有効にするかどうかの設定です。

◆『付録 A　本体仕様(p.333)』の『■サポート OS』の『POINT』

誤：VMware Infrastructure 3 Media Kit (B515VB3B0)
正：VMware Infrastructure 3 日本語メディアキット

以上

All Rights Reserved, Copyright© FUJITSU LIMITED 2007